

株式会社川島印刷

事業計画名

製本・折加工工程の内製化でワンストップ体制を構築することによる生産性向上と新たな市場の開拓

内製化により品質管理体制が整い、顧客の要求に対応
小中高校の先生、大学教授等に向けサービスの浸透を図る



折加工機 外注していた細かい折加工が内製化で可能に。

事業の背景・目的

最近、印刷物の納期短縮の要求が多くなり、これまで外注で対応していたものが、全部に管理が行き届かないことや時間的なことで顧客の要求に対応が厳しくなりつつあった。また、コスト面においても、外注費はその

まま変動費となる。社内での付加価値アップを実現するためにも、内製化を考えていた。内製化することで、外注していた加工部門を増やし、工場内の生産性を上げるために設備導入を決定した。

企業データ

印刷・加工全般、ホームページ制作、ウェブコンサルティング、電子書籍
印刷物に限らず、販促ツール、パッケージ・店舗用品デザイン、企画・ブランディング・マーケティング戦略、オリジナルグッズ・ノベルティ品等、お客様のニーズに応えられるツールの提案
製本・文集・資料・報告書等の作成相談



代表取締役社長 川島 良範

代表者	川島 良範
住 所	米沢市大字花沢221-2
電 話	0238-21-5511
F A X	0238-21-5514
e-mail	mail@kawa-prt.com
U R L	https://kawa-prt.com
設立年	昭和22年4月
資本金	2,000万円
従業員	43名

事業内容

製本加工機、折加工機、製本背貼機を導入。

これまで中綴じ加工製本をする場合、全部手で組み合わせをした後、開いて作業機台に乗せるという、1冊完成するのに何秒も掛かっていた。今回導入した製本機により、1人でセットしてボタン1つで中綴じ製本された形で出てくる。

折加工工程においても、これまで作業工程により製品の移動が必要であったが、一連の流れで完結できるようになった。



製本機 時間短縮、人員削減で生産性向上が実現。

事業の成果

品質管理、時間、コスト面での成果は確実に上がっている。これまでの作業で3人、4人と要していた人員が1人でこなせるようになったため、その分の人員が他の作業を担当することができるようになり、全体の効率、生産性が上がってきている。

これまで、細かい折加工のもの、ある一定以上のロット数のものはすべて外注に頼っていたが、機械導入により内製化が実現した。



製本背貼機 コピーもしくは、簡易印刷したものを製本、背貼りして見栄え良くする。

今後の展望

印刷をしなくとも、加工だけのニーズを開拓していくために市場調査を行っている。導入当初は同業他社から製本、折加工部門だけの受注を狙ったが、競合関係にあるところで非常に難しい。そこで、以前から多少の需要のあった、小中高、大学等の学校関係の教材、学会の資料作成等に金額をかけられないところをターゲットにしている。

現在、当社が製本、製本背貼り加工ができることを認知されていないため、自社ホームページで「学校の先生のための製本お悩み相談所.com」ページを掲載、告知と米沢市周辺で営業を行い、製本加工をフックに、その他の受注拡大を目指している。